分散体評価に最適化された
コンパクトなNMR

MagnoMeter

ワンクリック
20秒
粒子界面特性
を数値化します

パルスNMRによる粒子界面評価

緩和時間を測定する事で短時間でも再現性良く粒子界面の
僅かな違いを数値化可能です。
緩和時間の測定は難しいと思われがちですが
粒子径分布測定装置の様にどなたでも簡便にご使用いただけます。

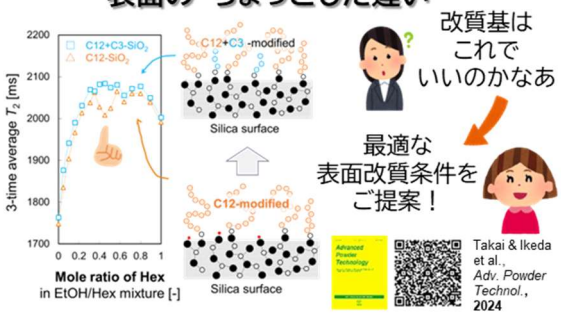


パルスNMR測定装置 MagnoMeter 特徴

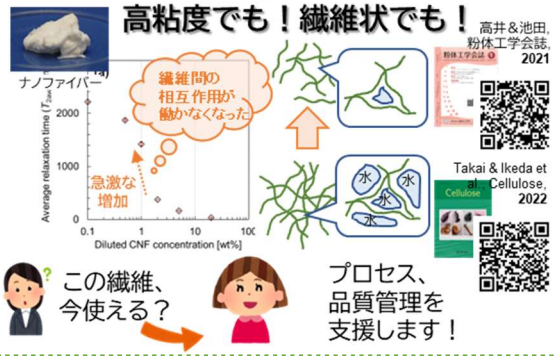
- ◆ 分散・凝集状態の評価
- ◆ 粉体の濡れ性評価・界面評価
- ◆ 分散剤等の吸着特性評価
- ◆ 比表面積の相対比較・分散終点の決定に
- ◆ ハンセン溶解度パラメーター(HSP)の算出に

名古屋工業大学/東北大学 高井千加教授との共同研究

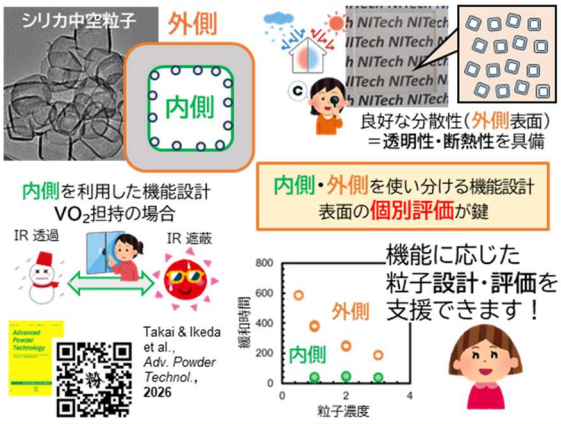
表面の“ちょっとした違い”



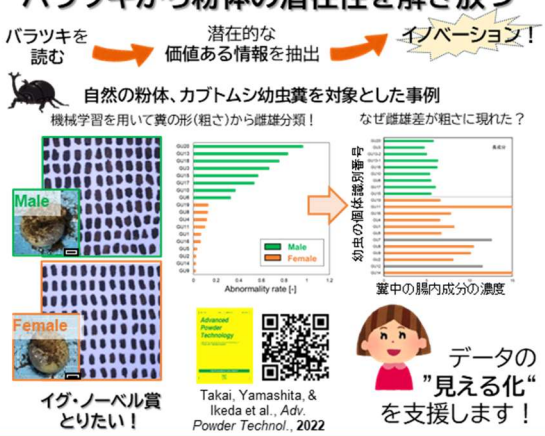
高粘度でも！繊維状でも！



細孔の内側と外側表面を区別できる！



バラツキから粉体の潜在性を解き放つ



微粒子分散体での応用例

- ● **セラミックス 電池材料**：湿式分散における解砕　分散性の工程管理
- ● **ナノテクノロジー**：粒子の表面修飾状態の把握
- ● **インク**：無機・有機顔料の解砕　分散　分散剤吸着状態
- ● **製　剤**：ロット差による濡れ性の違い　親水性の違い
- ● **その他**：濃厚系分散粒子系全般　アスペクト比の大きい試料
  （ナノファイバー　カーボンナノチューブ等）

マジェリカ・ジャパン
HPリンク

名工大・東北大
高井教授の情報

マジェリカ・ジャパン株式会社
〒277-0882 千葉県柏市柏の葉5-4-6 東葛テクノプラザ512
TEL:04-7189-8158 E-mail:info@mageleka-Japan.com
Web:http://www.mageleka-Japan.com/